

再エネルギー設備情報及び省エネルギー対策の取組内容について

2022年1月

学校法人トヨタ東京整備学園

専門学校トヨタ東京自動車大学校

【導入設備の概要】

自家消費用太陽光発電設備

- ・太陽電池総出力 70kW（パワーコンディショナ出力）
- ・太陽電池モジュール 単結晶 325W×319 枚=103.67kW
- ・パワーコンディショナ 50kW×1台+10kW×2台=70kW

【導入場所】

東京都八王子市館町 2193 番地

トヨタ東京自動車大学校 スマートモビリティ棟および4号館

【導入時期】

2021年8月

【導入目的】

自動車業界に求められている「カーボンニュートラル」推進のため、再生可能エネルギー発電設備を導入し、CO2削減と省エネルギー化を図る。

【他の事業者に向けた再エネ設備導入の参考となる情報】

運転開始後間もないため実績データは無いが、年間で校内消費電力の8.7%の発電量を見込んでいる。

【省エネルギー対策の取組内容】

- ・各棟のLED化の推進
2号館（全フロア）、3号館（全フロア）、4号館（全フロア）、1号館（半分程度）
スマートモビリティ棟は竣工時からLED照明を設置
- ・各棟の廊下照明の間引き
1号館、2号館、5号館
- ・既設エアコンの更新
故障、経年劣化箇所を順次実施中
- ・人感センサー付の温水洗浄便座の設置、節電設定の徹底（全棟）
- ・エネルギーマネジメントとして、デマンド値・閾値管理を行い、アラート発生時に各校舎にて電力使用量の調整を実施している

以上